



地区長のあいさつ



市長からお祝い品の贈呈



第二部 マジックショー

さわやかな秋晴れのもと、熊地区敬老会お祝い品贈呈式を行うことができ、とてもうれしく思っています。

竹中市長、社会福祉協議会常務理事を始め、県知事、国会議員の皆さんにご出席を賜り、会に華をそえていただきましたことにお礼を申し上げます。

三百六十五名の敬老会員のうち、百七十六名の方が出席されました。会員を代表

して宝町の竹内榮さんが心のこもった謝辞を述べられました。

第二部では、神谷智子さんのマジックショー、婦人会の演舞、民謡愛好会の踊り、子ども会の合唱と、楽しいひとときを過ごすことができました。

皆さんの今後ますますの健康と、長寿をお祈り申し上げます。

「敬老会」開催

地区長 近藤 輝和

No.50
熊
広
報

平成 26 年 10 月 1 日
熊地区広報発行委員会
発行責任者
地区長 近藤 輝和
公民館長 高橋 博良



敬老会お祝いのことば

刈谷市長 竹中 良則

本日、熊地区の皆様が長寿を祝福し、敬老会を開催されるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

熊地区の皆様方には、日頃から本市の福祉行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本日、お祝いを受けられます皆様方は、



刈谷市長の祝辞

永年にわたり様々な分野でご活躍いただき、今日の郷土の繁栄と活力ある社会をお築きになりました。ここに、改めて敬意を表するとともに、ご長寿を心からお祝い申し上げます。

我が国の平均寿命は、男性が八十二歳、女性が八十六・六歳となり、世界でも最長寿命国でございます。

本市において、今年の敬老会でお祝いを

受けられる方は、七十五歳以上の方が一万二千二百十四名、数えて百歳以上の方が八十名おみえになり、市内最高齢の方は今年で百七歳を迎えられております。

このように多くの皆様が長寿を喜び、いきいきとお元気で過ごしていただける社会が、私どもが目指している長寿社会であると考えます。

さて、今年は十一月に愛知県で第五十二回技能五輪全国大会が開催され、刈谷市では産業振興センターと刈谷市体育館において四職種が行われます。市内で行われるのは地元企業の上位入賞が期待できる種目であり、大会を通じて「ものづくり刈谷」を全国に発信したいと考えております。

科学の発達が著しい今日ですが、日々の営みや生活には先人の知恵に負うところが多く、皆様には今後私たちの先輩としてご助言いただきたく、また安心して元気で暮らしたいだけのようなまちづくりを推進してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本日お集まりいただきました皆様方の益々のご健康とご多幸を心から祈念いたしまして、お祝いのごことばとさせていただきます。



竹内 榮さんの謝辞

敬老インタビュー
竹内 榮さん(宝町) 88歳

今年の二月、初めての入院を体験されたそうです。質問にはきはきと答えられ、とても米寿を迎えられたとは思えない若々しさを感じました。

「今までの人生の中で、一番思い出に残っていることは何ですか?」と、お聞きしたところ、「五十歳を過ぎて、幸田町のソニーで4年間働いたこと」と答えられました。定員3名のところへ応募者が23人。この難関を見事に乗り越え入社。後に面接官から合格の理由を「竹内さんは、みんなと仲よくできそうな人だから。」と言われたそうです。

「運がよかった。」「みんなのおかげ。」「と、インタビュー中何度も言われました。謙虚に、そして、感謝して生きておられる現在の生き方の原点は幸田町にあったようです。

趣味は何と歌詞を作ること。

あの有名な星野哲郎さんに会ったことも。石本美由起さんとはビールを一緒に飲まれたこともあったそうです。

長女がアメリカに住んでいたこともあり、海外旅行特にスイスも趣味とのこと。今後の健康長寿をお祈り申し上げます。

(熊公民館主事 鈴木富佐夫)



新園舎の開園に寄せて

熊地区長 近藤 輝和

「さようなら。」

帰っていく保護者と園児に、小原総園長先生が元気に声をかけられます。

私が取材に訪れた日、保育相談なのか保護者からひっきりなしに電話がかかっておりました。総園長先生が誠意をもって対応してみえる姿が印象に残っています。

去る八月三日、熊野町に建設された親愛の里保育園の開園式が盛大に行われました。待機児童の解消がさげばれている折り、熊地区に保育園が誕生しましたことは、とてもうれしいことです。

開園式の前に園舎の内覧の時間が設けられていましたので、広い園舎をひととおり参観させていただきました。どの参観者からも「すばらしい。」と感嘆の声がもれていました。「この園舎は本を多く取り入れ、丸みを帯び、波のように柔らかなくのびているのが特徴です。」と総園長先生のことば。

『広い』『明るい』『あたたかい』この恵まれた環境の中で、親愛の里保育園児は健やかに成長していくことでしょう。

働く母親のリフレッシュのための一時保育事業や、子育て支援センター、病児・病後児保育事業等も立ち上げておられます。

保育園の入り口に20人ほどが腰掛けられるベンチが置かれています。このベンチは誰でも腰掛けていいとのこと。保育園と地域を結ぶ『ぬくもりベンチ』になってくれたらと願っています。



熊地区夏祭りを終えて

熊公民館長 高橋 博良

今年の夏祭りは、熊野公園で、七月十九日(土)、二十日(日)を開催日に予定して準備を進めていましたが、天気が悪く一日目を中止といたしました。

開けて二十日は天気も回復し、夕刻から子ども会の子供お楽しみコーナーや、ボランティアで参加いただいたバルーンアート、グラウンドゴルフ体験コーナーでにぎわい、盆踊り開始となりました。

今年、『熊の音頭』を盆踊りとして初めて踊る催しでもありました。二日間の予定を一日に凝縮しての盆踊りは、大変多くの人の参加を得ました。これによって、暑い中を準備してきた苦労が報われたと安堵いたしました。

最後になりましたが、公園近所の方々に深いご理解をいただいたこと、商店・事業所の皆さんから寄せられたご厚志、そして各団体のご協力、ご支援に深くお礼申し上げます。



行列のできたバルーンアート

宝町全体避難訓練実施 11月 2日(日)

熊地区自主防災会 会長 近藤 輝和

自らも被災体験をした作家の伊集院静さんが、東日本大震災に思いを寄せ、次のような詩を作られました。

わかって欲しい。

東北の町の、村の、里のどこかで、昨日、ようやく帰って来た人の通夜があり、今日はその人の葬儀に並ぶ人がある。

明日も誰かの月命日がある。そう、北の地では毎朝、毎夕、どこかで祈りを捧げている人がいる。

そうして三千余人のまだ帰らぬ人たちの待つ人が、同じように祈っている。(後略)

復旧、復興とテレビや新聞は報じていますが、北の地では、祈り続けている人たちがいることを「わかって欲しい」と作者はよびかけています。

南海トラフ巨大地震が発生した時、刈谷市の死者数は四〇〇人と想定されています。熊地区からは犠牲者を出さない取り組みを開始していきます。

十一月二日(日)、十三時から、宝町地区住民の皆さんと避難訓練を実施いたします。

『自分の命は自分で守る』『宝町住民の命は宝町の住民で守る』ための訓練です。

決められた一時避難場所へ避難し、班長さんが安否確認をします。その後、豊田自動車機さんの体育館に移動します。

各世帯から、一名以上のご参加をいただきますよう、切にお願い申し上げます。

すもう大会 六年 深津 学人

八月二十四日に『刈谷市子ども会すもう大会』がありました。僕は、高学年の部に出場して、優勝する事ができました。



みんなよく頑張ったネ

大会前に、出場する人達の中に僕より体の大きな子がいるのを見て、あの子が相手だといやだなあと思っていたけど、その子にも勝って、決勝戦も格闘技をやっている子に勝つことができて、本当にうれしかったです。これまで三回すもう大会に出ましたが、一番良い成績を残せてよかったです。六年生の最後の大会で、最高の思い出になりました。応援してくれたみなさん、ありがとうございました。

はれてよかった なつまつり

一ねん みうら この

わたしは、なつまつりを、とてもたのしみにしてたのに、あさからおてんきがわるくて、一にちめはちゆうしになりました。がっかりしたけど、二かめのあさ、おきたらはれていて「やったあ。」とよろこびました。一ばんたのしかったのはボールなげです。一だんめのはこのはしつに、ボールが「こん」とあ

たつて、それが二だんめのはこに「すん」とはいって、うれしかったです。そのあとで、けいひんのひかるくまであそびました。



楽しかった夏まつり

小学校最後の万燈祭 六年 小林 春香

私は子ども会の万燈祭全町引きに、参加しました。

今年は、たいこの『ちやらぼこ』をたたきました。私は、たいこを

二年ぶりにたたいたので、あまりリズムを覚えていませんでした。

でも、本番前になんとか通せる程度に、完成させました。



かつこイデしょ!

子ども万燈一斉舞のときに、重たそうにずっと回っている子がいたので、かわって舞いました。万燈自体は軽かったけど、回っているうちに、目がまわってきて意外に大変でした。

今回、万燈祭に参加して、たいこをたたいたことが、楽しかったので、中学生になっても、万燈祭に参加していきたいです。

夏休みのすてきな思い出

三年 正木 なの羽

わたしは、子ども会のイベントで、スケートに行きました。

さいしよは、全ぜんすべれなくて、くやし

たけど、友だちに教えてもらいながら、少しずつすべれるようになって、うれしかったです。



ホラッ 滑れたよ!

みんなでお昼ごはんをいっしょに食べたり、バスの中でおしゃべりして、楽しい夏の思い出ができました。

中万燈を製作して

製作グループ代表 井上 直之

四月下旬より七月下旬まで、毎週月・火曜日午前中を定例製作日とし、藤田さんを中心にして毎回一五名程の有志が集まり、中万燈を製作いたしました。

今年の題材は『三浦之介九尾狐を討つ』というもので、三浦之介が悪狐を退治する姿を表現したものです。我々は、竹の組み

方、和紙の貼り方など、基本的な作業を教わりながらの毎日でした。時には失敗し、やり直しもしばしばでしたが、お互い喧嘩することもなく、和やかに楽しみながら完成した感動は、ひとしおでした。

地区および豊田自動織機さんの協力のおかげと感謝致します。

『熊つ子わくわく塾』を振り返って

三浦 洋治

子ども達が熊地区の歴史を知り、創造性を育み、将来の担い手となってくれることを願って開催しました。

磯村先生、森野邊先生から学んだ地理、歴史、昔の遊びから今の子ども達が、昔の『熊』を想像し、未来の創造へと繋げていくって欲しいと思いました。両先生の話は小学生には難しかったと思いました



将棋の先生が苦戦

が、資料は保管しておいてください。中学生になれば理解できると思います。

初めての企画でしたが、多くの皆様のご協力で、先ずは成功裡に終えることが出来たと思います。またの機会にもよろしくお願い申し上げます。

熊地区の歴史あれこれ

熊地区出身の衆議院議員

三浦 逸平

郷土史研究会会長 竹中 兼利

熊地区出身の衆議院議員は二名あります。一名は刈谷地区出身の代議士第一号でもある三浦逸平氏で、もう一人は逆事件の鬼検事ともいわれた武富清氏です。今回は三浦逸平氏について紹介します。

三浦逸平氏は、明治三年一月十八日熊村の材木屋の息子として生まれました。父親が亡くなると東京に出て法学院(現在の中央大学法学部の前身)を卒業しました。学友たちは卒業後、判事や検事、弁護士になりましたが、逸平氏は兎町で株の売買をしました。日清戦争や日露戦争で株の投機に成功し当時のお金で数万円を稼いだといいます。

株の仲間が衆議院議員になったのを見て自分もやってみようと思い、愛知県補欠選挙に出て当選しました。

刈谷への貢献としては三河鉄道の設置(現在名鉄三河線)、刈谷中学校(現在愛知県立刈谷高等学校)の誘致に尽力しています。また、帝國火薬工場(現在は日本油脂武豊工場を作り、その取締役になっています)国木田独歩(自然主義文学の作家『武蔵野』源おじ等)有名)の恋愛事件に関係

しました。奥方が相手方の佐々城信子の友人の姉であったので関わり合いを持ち、信子を自宅にかくまいました。この事件は有島武郎の小説『ある女』のテーマになっています。晩年は近衛文磨等と共に軍部の動きを抑えようとしていたようです。

昭和十一年十一月十二日に死去。享年六十六歳



三浦逸平氏

老 社 会 だ よ り

刈谷市民盆踊り大会に参加して

笠松 信子

八月十六日夕方、総合運動公園で開催された市民盆踊り大会に、老社会会員六名が熊の音頭のマークを背中につけた法被



熊の音頭を背にカッコイイ！

で颯爽と参加しました。櫓の回りは、色とりどりの浴衣を着た人でいっぱいです。スカイブルーの法被はひと際人目を惹きました。六月から民踊愛好会のご指導を受けたおかげで、婦人会の若い皆様・民踊愛好会の皆様と共に楽しく踊ることができました。ありがとうございました。

第二回老社会ボーリング大会開催

八月二十六日、高浜ファミリィボウルで、参加者二十名、五レーンで行いました。村井会長の始球式で始まり、各レーン一投目が投球されると直ぐに、「ストライク」の歓声とハイ・タッチが始まりテンションが上がりました。青春に戻ったように大いにハシヤギ楽しい時間を過ごしました。



華麗なフォーム！誰でしょう

優勝者は男子・杉浦淳一さん、女子・中島尚美さんでした。

(記 藤田政夫)

優良老人クラブ表彰状受賞

老社会 会長 村井 修治

八月二十九日、名古屋市公会堂大ホールで行われた、第四十九回愛知県老人福祉大会において、刈谷市老人クラブの代表として、熊老社会が地域活動の活性化に貢献したとして、県老連から優良老人クラブ表彰を受けました。



老社会は、今後も健康・福祉等の活動を活発化させ、地域活動を牽引する役割を担って行きたいと思っています。

熊地区の皆さん、老社会の活動にご支援・ご協力よろしく願っています。

熊なでしこ会活動報告

代表 三浦 昌子

夏真っ盛り、今年も万燈の季節がやって来ました。万燈を曳くお囃子の音が、私達のいる市民館に近づいてきました。涼をとって頂く為、冷たいおしぼりとスイカ等を用意して、到着を待っていました。お母さんと一緒に歩いて来た真っ赤な顔のお子さん達、輝く汗の流れる若者、パワーみなぎる地区の皆さん。暑さの中、清々しい笑顔がいっぱいでした。地区上げてのお祭りに、絆が深まったことと思います。

九月の『なごやかサロン』は、刈谷市赤十字奉仕団の方々に、災害時に役立つ防災のお話をして頂き、その後、参加者の皆さんで、防災食のアルファ米を試食しました。とても、楽しく勉強になりました。

熊野神社だより

総代会会長 三浦 英司

清々しく青く澄みきった空に、秋を感じるようになりました。

先日、秋の大祭の奉賛金を氏子の方に、特別奉賛金を企業及び商店の皆様にご願いしたところ、多大なご寄進をいただき、感謝しています。

また老社会による境内清掃、安全。パトロール隊・消防団による餅投げ警備・子ども神輿警備、有志による余興等地区の皆様のご協力もいただき有難うございます。

氏子総代は、これらをもとに、安心、安全な楽しいお祭りになるよう努めます。なお大祭の計画は左記のとおりです。皆様のご参拝をお待ちしています。

▼大祭開催日 十月十二日

▼主な行事

- ・煙火打ち上げ 七時
- ・里神楽・浦安の舞奉納 九時
- ・式典 十時
- ・子ども神輿町内巡回 十時
- ・厄年厄払い式 十二時三十分
- ・餅投げ 十五時

▼その他

- ・団子売り 九時
- ・バルーンアート 十二時三〇分

【追記】

- ・巫女さん募集
- ・平成二七年度四二歳厄払い参加者募集

婦人会からの活動報告

婦人会広報担当 宮村 実希

★六月・七月の毎週金曜日に、民踊愛好会様にご指導頂き、六回の盆踊り練習を行いました。

★夏まつりでは、太虎連様の響きに合わせ踊らせて頂き、楽しく踊ることが出来ました。

★刈谷市民盆踊り大会では、刈谷市婦人会の方々を始め、沢山の方々と踊ることができ、熊地区の順番になると、櫓の上にも登らせていただき、貴重な体験をさせていただきました。

★敬老会では、『かつなりくん体操』と『晴れ晴れ音頭』を踊らせて頂きました。



かつなりくん体操

消防団第四分団からのお知らせ

分団長 奥村 直哉

先日は、地区の皆様方より、消防団活動へのご理解のもと、助成金のご協力を頂き誠にありがとうございました。現在までの主な活動内容は、



- 4月 消防団員講習会
- 5月 刈谷市水防訓練
- 6月 刈谷市消防操法競技会
- 8月 熊地区夏祭り警備 などです。
- 9月より新しい仲間が入ることになりました。熊野町の中西宏紀君です。将来熊地区の希望の星となつていただけるように頑張ってもらいたいと思います。中西君の同級生の皆さんも一緒にどうですか？